

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 東京海上日動火災保険株式会社熊本支店

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・本年は新たな中期経営計画のスタート年であり、全職場で当事業の目的やパーパスについて、議論し実現に向けて実行している。									8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・役職員が「コグナティブ行動規範」に則り、事業計画のあらゆる局面においてコグナティブを最優先するよう周知徹底を図っている。 ・コグナティブ・マニファを策定し、役職員が遵守すべき法令、社内ルール等に関する研修を実施してコグナティブの周知徹底を図っている。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・社会的責任の観点から、取引先(調達先・業務委託先)に「取引における行動指針」を交付し、人権尊重に関連する領域を含め、「法令等・社会規範の遵守」「公平・公正な取引の推進」「情報管理の徹底」「環境への配慮」への取り組みを要請している。											10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者および責任者(担当役員)を、任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・名誉毀損・プライバシー侵害・知的財産権(著作権・商標権等)侵害など、他者の権利を侵害しないよう定期的な社員教育を行っている。									8.2 8.3	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		「個人情報の保護に関する法律」、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」および関連ガイドライン等に基づき、社内諸規程の整備、社員等の教育やモニタリングを行い、情報管理の徹底に取り組んでいる。																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・全てのステークホルダーに対して、適時適切な情報開示を行うとともに対話を促進し、健全な企業運営に活かしている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先とともに社会的責任を果たすサプライチェーン・マネジメント、商品・サービスのご提供先のお客様・プロジェクト・企業におけるESG促進、および投資活動におけるESG配慮を行うサステナブル投資の3つの取り組みを実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16			17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		地震、巨震等の自然災害が発生した場合、被災地はもちろん被災地以外でも、保険事故の受付、保険金等の支払い、保険契約締結等、損害保険会社としての重要業務を継続する社会的使命を担っているため、災害に関する事業継続計画における基本方針を定め、事業継続計画(BCP)を策定している。													9						16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16			17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・全社員およびともに働くすべての人が差別やハラスメントのない活力ある企業風土を築いている。 ・毎年、年度初めに「人権関連 基本方針・施策」を策定し、継続的にPDCAサイクルを回して状況調査、課題抽出、改善策を講じている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生法に基づく労働安全衛生管理体制を整備しており、産業医と衛生管理者を選任するとともに、衛生委員会を設置している。			3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・公正な人事制度・運用により、「社員一人ひとりが創造性を発揮できる自由闊達な企業風土」の構築とともに、社員の働きがいの向上を図っている。					5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		「Go Go Challenge Day」(週1回17時30分に業務を終了)・勤務間インターバル(終業から翌日の始業までの時間)を11時間確保することをめざす「11Q Challengeを開始し、長時間労働の削減に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・インベーションの創出を目的に社員からアイデアを募り、最優秀者の応募者が自らインベーションを実現できる制度(グループの成長に資するビジネスモデルの創造・新規事業創出をめざす社内公募制プログラム)を運営している。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		「お客様に選ばれ、成長し続ける会社であるために最も大切な原動力は社員であり、東京海上日動は社員と家族の心身の健康の保持・増進に積極的に取り組みます。」という健康経営宣言を掲げて、各種取り組みを推進している。			3					8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性社員の活躍推進、豊富な知識・経験を持つ高齢社員が活躍できる職場づくりや障がい者の雇用促進等を進め、グループ全体のダイバーシティ&インクルージョン推進に取り組んでおり「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・全社員にノートPC、営業社員のスマートフォンを配布するなど、リモート環境を活用することで出勤を抑制し、非対面で業務を行うなど感染防止に努めながら、損害保険の重要業務を中心に、社会のインフラとしての機能発揮に努めている。			3					8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・商品・サービス、マーケティング、顧客タッチポイント、営業プロセス、損害サービスプロセス、社内共通プロセスの6つの領域でのDXを推進し、新たな価値創造による競争力と生産性の向上を図っている。								8	9.1		11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・2018年、プライト企業の認定を受けている。			3	4					8	9			12								

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 東京海上日動火災保険株式会社熊本支店			※基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ※「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ※【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・気候変動被害の拡大を抑止するためグループ各社で、再生可能エネルギーの施設検討と運用、環境汚染にかかわる賠償責任保険、ESG・サステナビリティに関するコンサルティング等の商品・サービスの提供を進めている。			3.9		6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・自社のエネルギー消費量を把握し、(1)オフィス内での省エネや、(2)社員の働き方の見直し(朝型勤務の推奨、服装のカジュアル化等)を継続的に行っている。またウェブ会議システムの利用拡大や航空機出張の抑制等エネルギー起源のCO2排出抑制にも取り組んでいる							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・自社のCO2排出量を把握し、2002年から継続して、風力発電やバイオマス発電によるグリーン電力を年間約100万kWh購入している。		2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境方針に「保険商品、損害サービス、金融サービス等の事業活動において、地球環境保護と生物多様性の保全に寄与し得よう努めます。」と定め、事業活動を通じて生物多様性の保全を進めていく考えを明確化して、生物多様性の保全に取り組んでいる。					6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事故で損傷した部品が修理できる場合は、お客様の同意を前提に、部品を交換せずに修理して継続使用する。もしくはリサイクル品・リビルト品による部品交換を行うなどの取り組みを行い、産業廃棄物の削減と資源の有効利用に取り組んでいる。									9.4		12.2 12.4 12.5			14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水に関する掲示をトイレ等で行い、日々熊本の水資源の保全への意識づけを行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入ネットワークのメンバーとして、グリーン購入の取り組みを推進している。 ・タブレット端末等を活用したペーパーレスの契約申し込み手続き「らくらく手続き」「スマらく」を推進し紙使用量の削減を行っている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	災害備蓄品の飲食料について、賞味期限が近付いたタイミングで入替を行っているが、古いものは廃棄せずに賞味期限前にフードバンクに寄付を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	2009 年から「お客様と一緒に環境保護活動を行うこと」をコンセプトに「Green Gift」プロジェクトを継続し、マングロープ植林の推進力としている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	2020 年6 月、同分野のグローバルリーダーであるGCube 社の買取等を通して、洋上風力発電を支援する保険商品等、再生可能エネルギー普及を推進する商品サービスを提供している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・伐って、使って、植えて、育てるの持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	高知県・協働の森づくり事業として、高知県、安芸市、高知東部森林組合とパートナーズ協定を締結し、「東京海上日動 未来への森」と名づけた森林の間伐などの保全活動を行っている。					6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	1999 年から東南アジアを中心に、「マングロープ植林プロジェクト」を実施。インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、フィジー、インド、バングラデシュ、マレーシアの計9カ国で、約11,240 ヘクタールの植林を行っている。					6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	使い捨てプラスチック製品を含む環境負荷削減を目標として掲げ、東京海上日動 本店の社員食堂において、使い捨てプラスチック製品を使用しない等の取り組みを行っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社員の通勤は公共交通機関を利用することを原則としている。 ・社有車に電気自動車の導入を開始し、現在8台を所有している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・節電・省エネルギーやダブルランドを活用した業務効率向上、ペーパーレス等に取り組むとともに、事業活動に伴うCO2 排出量をマングロープ植林プロジェクトやグリーン電力購入によるCO2 固定・削減効果で相殺する「カーボン・ニュートラル」を2009年から15年連続で達成して						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:		東京海上日動火災保険株式会社熊本支店		基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・「お客様の声」に関するグループ統一基準に基づき、各社で対応方針を策定し、お客様の声を商品・サービスの改善にいかすための仕組みづくりに取り組んでいる。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・主要な「商品」について、従来のA4・B4の「縦向き」を「横向き」に拡大するとともに、高齢者や障がいのある方も含めた多くのお客様にとって読みやすいフォントを使用し、分かりやすさの向上を図っている。 ・補償の対象を家族や夫婦としている商品について、「配偶者」の定義に関係者のパートナーも含める対応を進めている。										9.1	10	11.7				17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15	17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・自社の執務室等の天井や壁等の内装や外装に県産材を使用し、木質化を推進するとともに、県産材の利用を促進している。							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ドライブレコーダーを自動車保険の特約として、国内大手損保で初めてお客様に貸与し、高度な事故対応サービス、安全運転支援サービス、安全運転診断サービス等の先進的なサービスを提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		社員による地域・社会貢献活動の促進を目的に、毎年10月・11月を「サステナビリティ Month」と定め、この期間にさまざまな取り組みを実施。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・自社で定期的な避難訓練や防災備蓄や防災グッズの常備はもちろん、企業のBCP策定や事業継続力強化計画認定支援を日々行っている。 ・「ぼうさいにこたえ」など各種防災イベントに出店参加している。				4								11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	未来世代が次の災害に備え、自分の身を守ることができるように、小学生等を対象とした社員ボランティアによる出前授業「ぼうさい授業」も積極的に推進している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・大規模自然災害に備える防災・減災アプリとして、災害情報や避難情報の通知機能強化やご契約内容のご家族間共有にも取り組んでおり、「モバイルエージェント」を通じてお客様との更なるデジタル接点強化に取り組んでいる。									9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGs策定支援ツールを活用し、代理店と連携しながら県内事業者のSDGs策定の支援を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2							17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。